川場村議会広報 通巻第73号

田園理想郷時代

No.18
2023.11.1

利根沼田地域では酪農家が減少の一途をたどっているが、川場村では若者が頑張っている。
しかし、飼料価格の高騰など、大きな課題も影を落としている。

第5回議会定例会 —— 2〜3
一般質問 —— 4〜5
決算審査特別委員会 —— 6〜7
川場村全員協議会 —— 8
委員会の活動〈総務文教常任委員会〉 —— 9
注目の補正予算 —— 10
新庁舎建設工事視察・議会傍聴の案内・議会の動き —— 11
ぼいす・編集後記 —— 12

第5回議会 9月定例会

令和5年9月7日(木)〜15日(金)

令和5年9月定例会で、村長から提出された条例の制定3件、廃止1件、一部改正5件、令和5年度補正予算6件、人事2件、決算認定6件、報告5件、その他4件が原案のとおり可決となりました。

条例

●川場村役場の位置を定める条例の一部を改正する条例について
川場村役場庁舎移転に伴い川場村役場の位置を定める条例の一部を改正する。〔全員賛成〕

●川場村交流ホールの設置及び管理に関する条例について
川場村交流ホールの設置及び管理に関する条例を制定する。〔全員賛成〕

●川場村むらの学習館の設置及び管理に関する条例について
川場村むらの学習館の設置及び管理に関する条例を制定する。〔全員賛成〕

●川場村山村開発センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
川場村役場庁舎移転に伴い川場村山村開発センターの利用を終了するため条例を廃止する。〔全員賛成〕

●川場村文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
新庁舎の完成に伴い行政機能が移転するため条例の一部を改正する。〔全員賛成〕

●川場村同報無線通信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
川場村役場庁舎移転に伴い同報無線通信施設を移転するため条例の一部を改正する。〔全員賛成〕

●川場村犯罪被害者等支援条例について
犯罪被害者等の支援を総合的に推進し被害の早期回復及び軽減を図ることを目的とし条例を制定する。〔全員賛成〕

●川場村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
新型コロナウィルス感染症の影響による国民健康保険税の減免基準を定めるため条例の一部を改正する。〔全員賛成〕

●川場村福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について
子ども医療費の対象拡大の実施に 伴い条例の一部を改正する。〔全員賛成〕

人事

●川場村固定資産評価審査委員会の委員選任について
戸部芳雄氏が選任されました。任期は令和5年10月1日から令和8年9月30日まで。〔全員同意〕

●川場村教育委員会の委員任命について
田口淳子氏が任命されました。任期は令和5年10月1日から令和9年9月30日まで。〔全員同意〕

決算認定

●令和4年度川場村一般会計歳入歳出決算の認定について
●令和4年度川場村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
●令和4年度川場村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
●令和4年度川場村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
●令和4年度川場村水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
●令和4年度川場村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

報告

●株式会社田園プラザ川場の経営状況に関する書類の提出について
●川場村土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について
●株式会社ウッドビレジ川場の経営状況に関する書類の提出について
●川場村財政健全化判断比率報告書について
●川場村公営企業資金不足比率報告書について

補正予算

●令和5年度川場村一般会計補正予算（第3号）について
歳入歳出それぞれ1億9千332万7千円を追加し、総額を45億7千209万5千円とする。〔賛成多数〕

●令和5年度川場村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ2千461万2千円を追加し、総額を4億5千939万4千円とする。〔全員賛成〕

●令和5年度川場村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ3千36万9千円を追加し、総額を5億38万9千円とする。〔全員賛成〕

●令和5年度川場村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ506万5千円を追加し、総額を1億169万9千円とする。〔全員賛成〕

●令和5年度川場村水道事業特別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ565万7千円を追加し、総額を5千14万4千円とする。〔全員賛成〕

●令和5年度川場村下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ762万1千円を追加し、総額を2億3千120万9千円とする。〔全員賛成〕

その他

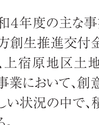
●工事請負契約の締結について（令和5年度川場村第2工区造成工事）
関東建設（株）と5千665万円で工事請負契約を締結する。〔全員賛成〕

●工事請負契約の変更について（令和3年度川場村役場新庁舎建設工事）
工事内容の変更に伴い契約金額（繰越事業）を増額する。（変更後／25億6千295万6千円）〔全員賛成〕

●川場村土地開発公社の解散について
初期の目的を達成したため解散する。〔全員賛成〕

●利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について
圏域内の地域医療体制の維持・充実を図るため協定の一部を変更する。〔全員賛成〕

監査委員から



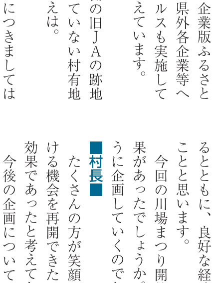
代表監査委員
角田 清 委員

1、令和4年度の主な事業は、役場庁舎建設事業、地方創生推進交付金事業、小規模農村整備事業、上宿原地区土地改良事業、など、それぞれの事業において、創意工夫がなされ、財政的にも厳しい状況の中で、積極的に事業が進められている。

2、地方交付税、国県支出金の安定確保を図るとともに、年度間の調整機能を有する地方債の有効的な活用を図り、適正な財政運営をされている。

3、今後も人口減少、超高齢社会に伴い、財政への長期的な影響が懸念される中、財政的には厳しい状況が続くものと予想されますが、引き続き、より一層の努力を期待する。

村政を問う 一般質問



自主財源の確保と、川場まつり開催の効果

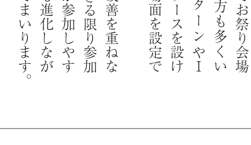
千木良澄夫

●千木良●
村では厳しい財政状況下で行政が行われています。役場新庁舎やむらの学習館他の事業では、国や県の補助制度や村債の発行などで執行されています。
自主財源の確保は重要ですが、今までにどのように確保してきたのか、また、今後どのようなものを考えていますか。

■村長■
自主財源の中心は地方税で、条例や規則で徴収できる使用料や手数料なども自主財源となります。
川場谷小水力発電事業で年間500万円超が確保されているほか、赤倉川でも年間600万円超が確保される予定です。川場牧場用地の一部を太陽光発電事業者へ賃貸することで財源確保が見込まれています。
ふるさと納税は返礼品のPRや開発に村内企業と力を合わせて行い、企業版ふるさと納税は村外・県外各企業等へのトップセールスも実施していきたいと考えています。

●千木良●
小学校東側の旧JAの跡地や、活用されていない村有地についての考えは。

■村長■
JAの跡地につきましては臨時の駐車場等としていますが、今後何らかの活用が必要かと思っています。しかし、村で整備するにも費用がかかることから、企業の進出なども想定をしています。働きかけ等は行っていますが、実現には至っていません。
そのほかの公有地等の用地についても、活用できるよう努力してまいりたいと思っています。



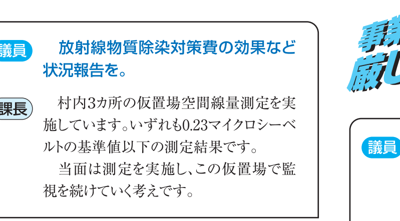
JA跡地

●千木良●
2つ目の質問、川場まつり開催に伴う効果についてお伺いいたします。
川場まつりが4年ぶりに開催されました。大勢の村民や村外のお客様も訪れ、盛況のうちに終了。地域の活性化が図られるとともに、良好な経済活動が促されることと思います。
今回の川場まつり開催はどのような効果があったでしょうか。また、今後どのように企画していくのでしょうか。

■村長■
たくさんの方が笑顔で楽しんでいただける機会を再開できたことがまず大きな効果であったと考えております。
今後の企画については、例えば川場村出身で実家に帰った機会にお祭りに参加したり、知り合いに誘われてお祭り会場に来てみたいという村外の方も多くいらっしゃいましたので、Uターンや Iターン、移住を案内できるブースを設けるなど、村全体をPRする場面を設定できればと考えています。
今後継続していくために改善を重ねながら、神輿渡御をはじめ、できる限り参加者の負担を軽く、多くの方が参加しやすい設定を検討し、来年以降も進化しながら継続できるよう工夫をしてまいります。

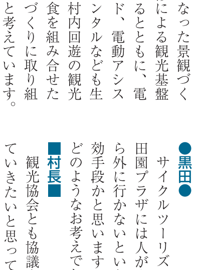
●千木良●
川場村には川場ばやしと武尊旅情の2つの楽曲とその踊りがあります。これらを広めたり伝承したりするためにも、お祭りに取り入れたらいかがでしょうか。

■村長■
今後検討していきたいと思いますが、婦人会等の団体も減少していますので、そういった状況を含めて、また要望等があれば検討してまいりたいと思っています。



川場まつり（中央広場）

村政を問う 一般質問



コロナ後の観光行政をどのように進めるのか

黒田まり子

●黒田●
環境への配慮や地域社会の発展に貢献する観光が重要視されていますが、期待される川場村の観光についてどのようにお考えでしょうか。
2番目に、観光庁が募集した、地域一体となった観光地、観光産業の再生、高付加価値化事業で地域計画で、その1つの地域に川場村の案が選ばれましたが、内容と現状をお聞かせください。
3番目に、村の観光振興における川場村観光協会の位置づけと役割、業務体制についてお聞かせください。

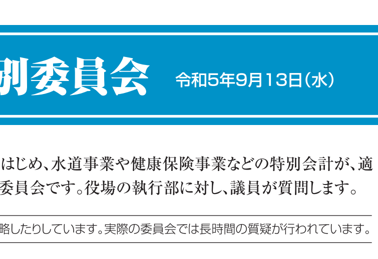
■村長■
群馬県観光物産協会の分析では、旅行に対する意欲はコロナ前の状態に戻りつつある一方で、感染リスクの低下や混雑を避ける分散型観光が旅行者に求められています。
本村の観光入り込み客の現状は過去最多を記録した一方、宿泊を伴うニーズには応えられていません。
地域一体となった景観づくりや施設改修による観光基盤づくりに努めるとともに、電動キックボード、電動アシスト自転車のレンタルなども生かしながら、村内回遊の観光促進、体験や食を組み合せた観光メニューづくりに取り組んでいきたいと考えています。
また、群馬県と利根沼田管内市町村が連携して進めている利根沼田サイクルツーリズム事業をはじめ、管内市町村との連携に注力した観光行政も進めていきたいと考えています。
2番目の質問ですが、本村らしい観光産業を再生及び促進させるため、地域計画を作成し、令和5年度第1回審査会で全国53案件の一つとして採択されました。内訳は、施設の高付加価値化を目的とした宿泊施設の改修、観光施設の改修、地域の景観形成を目的とした廃屋の撤去です。
3番目の観光協会の位置づけ、役割、業務体制については、観光協会は村の観光開発促進と観光事業の振興を図り、経済の発展に資することが目的です。村内観光関連事業者が観光振興に取り組むための組織として存在することが役割です。
会員は、観光関係に携わる個人及び団体、観光関係の会社及び事業者が正会員になれます。村から、理事として観光担当課長が任命をされており、本年7月28日の理事会において私、村長が会長に、専務理事に宮内副村長が就任しています。

●黒田●
サイクルツーリズムについて伺います。田園プラザには人が来るけれど、そこから外に行かないということを解決する有効手段かと思いますが、推進についてはどのようなお考えでしょうか。

■村長■
観光協会とも協議をして積極的に進めていきたいと思っています。レンタルサイクルなどで川場村を満喫できるようなことを進めていきたいと思っています。

●黒田●
観光協会はお客さんからの問合せを処理していくだけの受け身ではなく、積極的に稼ぐ仕込みを作っていくことが重要かと思いますが、どうお考えでしょうか。

■村長■
今、利根沼田が一体となって観光事業に取り組んでいますが、構想中の新しい自転車競技なども、田園プラザからスタートするようなことも聞いています。稼げる観光を目指して、日々努力していきたいと思っています。



自転車で川場村をめぐる

決算審査特別委員会

令和5年9月13日(水)

「決算審査特別委員会」では、一般会計をはじめ、水道事業や健康保険事業などの特別会計が、適切に運用されているかをチェックし、ただす委員会です。役場の執行部に対し、議員が質問します。

このページでは、言い回しを調整したり質問自体を省略したりしています。実際の委員会では長時間の質疑が行われています。

議員 ふるさと寄附金と企業版ふるさと寄附金の実績は。

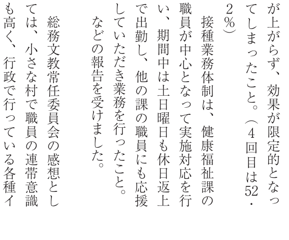
課長 企業版ふるさと納税の実績は、事業者で9件、合計額1,695万円です。新拠点構想の推進などに充当しています。
ふるさと納税の実績は4,345人、寄附額が8,354万2,500円です。充当先はほたかの里基金への繰り入れです。

議員 庁舎等建設寄附金のどのように募集し、寄付額は。

課長 広報等を通じて募集しました。金額は16名で108万円でした。

議員 地域おこし協力隊の4名の業務内容と実績は。

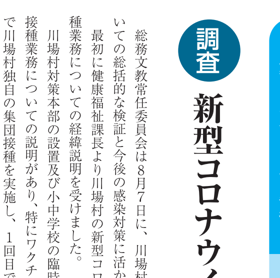
課長 4名のうち2人は夫婦で、太郎地区のゲストハウス「ゆびとや」の管理運営を担当しています。4年度の利用実績は180組600名の宿泊を受け入れました。
3人目は主に「かわば森と未来協議会」の事務局を担当しています。また、ふるさと納税の業務を補助しています。
4人目はスカイビュートレイルの事務局として、スカイビュートレイルの大会運営を行っています。



ゲストハウス「ゆびとや」

議員 生活支援対策事業費で購入した防災避難所用器具の配置計画や、災害時の対応は。

課長 防災避難所用機器としてLEDバルーン投光器、インバーター発電機を各10台購入しました。8台を各地区の集会場に配備、2台は役場に配備してあります。
村内に災害が発生し、電力等の供給が途絶えた場合に備え、この発電機とバルーン投光器を配備しました。
災害時には、区長を中心として消防団等と協力しながら有効利用していきます。



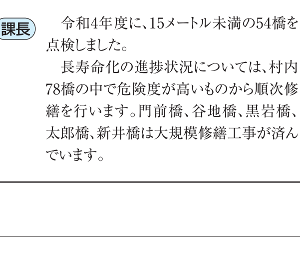
事業効果を厳しくチェック

議員 放射線物質除染対策費の効果など状況報告を。

課長 村内3カ所の仮置場空間線量測定を実施しています。いずれも0.23マイクロシーベルトの基準値以下の測定結果です。
当面は測定を実施し、この仮置場で監視を続けていく考えです。

議員 はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業補助金の内容は。

課長 認定農業者が対象です。
経営規模の拡大と農業所得の向上を目標にした3カ年計画が県に承認されて補助対象となります。村内では農業機械導入補助として1名が認定されました。



議員 橋梁費の委託料1,765万2,000円の内容、実施箇所は。
それと、長寿命化の進捗状況について。

課長 令和4年度に、15メートル未満の54橋を点検しました。
長寿命化の進捗状況については、村内78橋の中で危険度が高いものから順次修繕を行います。門前橋、谷地橋、黒岩橋、太郎橋、新井橋は大規模修繕工事が済んでいます。

議員 小学校の需用費の予算に対して約10%ぐらいの不用額がでている内容は。この不用額が10%出るとは見積りが甘い。厳しく精査していただきたい。

課長 需用費の電気代、燃料費について、小学校で月33万円ほどの電気代が月90万円ほどに高騰し、補正予算で対応しました。
その後、低額で使用できる契約に切り替えたことで減額できましたが、補正で処理できず、不用額が発生しました。

議員 村からの各団体、会社等への出資について。株式会社田園プラザ川場の資本金が9,000万円だったが、4,500万円に減額されているのはなぜか。

課長 田園プラザが中小企業の有利な補助金等を受けるためには、地方公共団体が株式50%以上を保有していると中小企業とみなされないため、資本金4,500万、資本余剰金4,500万円としました。

議員 経営状況を地方公共団体が管理をしながら健全化に向けて取り組むと令和3年の11月1日に策定した田園プラザ川場に関する第三セクター等経営健全化方針の進捗状況について。

課長 コロナ禍でマイナス計上が続きましたが、令和4年度は黒字化しました。筆頭株主の村として、今後とも状況を見守りながら、財産管理も含めて、適切な場面によって指導していきます。

川場村全員協議会

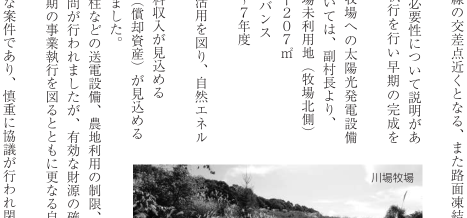
令和5年9月5日(水)

全員協議会で重要案件を協議

9月5日午前9時から全員協議会が開催され、役場執行部より8件の重要案件について細部の説明があり、質疑応答が行われました。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
(2) 令和5年秋開始接種（新型コロナウイルスワクチン接種）について
(3) 工事請負契約の締結について（令和5年度川場村第2工区造成工事）
(4) 工事請負契約の変更について（令和3年度川場村役場新庁舎建設工事）
(5) 川場村土地開発公社解散について
(6) 利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について
(7) 村営川場牧場への太陽光発電設備誘致について
(8) 川場村国体記念館及び川場村スポーツ広場の管理及び運営に関する協定の改定について

特に（3）工事請負契約の締結について（令和5年度川場村第2工区造成工事）の案件は活発な討論が行われ、議員からは、「役場庁舎南側の約8千500㎡の広大な敷地の駐車場整備の必要性は」「駐車場の路盤構成及びのり面の作りと高さは」「北から1段目及び2段目は村道谷地生品線からの進入路の整備であるが、3段目は西側の農道からの進入路となる理由は」などの質問がありました。



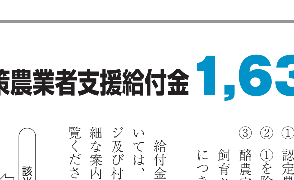
建設が進行する新拠点第2工区分

むらづくり振興課長より、
「大規模開発区域申請箇所であり第2工区も整備が必要であること」
「第2工区の構想はあるが具体的な整備計画がまだ出来ていない」
「駐車場は舗装ではなく盛土のみで行い、のり面も成形し種子吹付とする」
「3段目は村道谷地生品線の交差点近くとなる、また路面凍結の恐れがあるので西側への設置となる」
など詳細説明と工事の必要性について説明がありました。適切な工事執行を行い早期の完成を願っています。

また、（7）村営川場牧場への太陽光発電設備誘致についての案件については、副村長より、
・設置場所　村営川場牧場未利用地（牧場北側）
・予定敷地面積　5万8千207㎡
・発電事業者　（株）アドバンス
・工事期間　令和6年度〜7年度
・川場村のメリット
・村有の未利用地の有効活用を図り、自然エネルギー生産に寄与
・発電事業者からの借地料収入が見込める
・発電設備の固定資産税（償却資産）が見込める
などの詳細な説明がありました。

質疑では、議員から電柱などの送電設備、農地利用の制限、借地料及び償却資産の収入見込額などの質問が行われましたが、有効な財源の確保が図られるとの前向きな意見が多く、早期の事業執行を図るとともに更なる自主財源の確保に努めて欲しいと思います。

他6件についても重要な案件であり、慎重に協議が行われ閉会となりました。



川場牧場

委員会の活動 総務文教常任委員会

調査 新型コロナウイルスワクチン接種業務を検証

総務文教常任委員会は8月7日に、川場村の新型コロナウイルス感染対策についての総括的な検証と今後の感染対策に活かすための調査を行いました。

最初に健康福祉課長より川場村の新型コロナウイルス感染対策及びワクチン接種業務についての経緯説明を受けました。

川場村対策本部の設置及び小中学校の臨時休校などの対応や村民へのワクチン接種業務についての説明があり、特にワクチン接種業務については、保健センターで川場村独自の集団接種を実施し、1回目で接種率89%、2回目で85・6%、3回目で88・9%という高い接種率とすることができたこと。

4回目以降は集団接種または個別接種の選択制としたため接種率が上がらず、効果が限定的となってしまったこと。（4回目は52・2%）

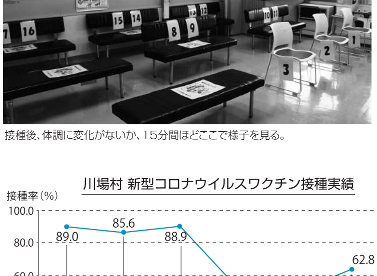
接種業務体制は、健康福祉課の職員が中心となって実施対応を行い、期間中は土日曜日も休日返上で出動し、他の課の職員にも応援していただき業務を行ったこと。

などの報告を受けました。

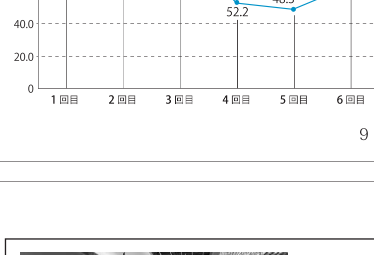
総務文教常任委員会の感想としては、小さな村で職員の連帯意識も高く、行政で行っている各種イベントの対応能力が発揮され、職員一人一人が自分たちのするべきことの行動と判断能力の高さからスムーズな業務運営が行われた。また、担当課長のリーダーシップが遺憾なく発揮され、高い効果を得られたと感じられた。

新型コロナウイルスも令和5年5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」とされたが、最近、感染症発生状況も増えつつあるが、今までの感染症対策の実務経験を活かし、村民が安心して暮らせる村づくりに当たってほしいと願います。

総務文教常任委員長　星野孝之



村独自の集団接種が功を奏したこともあり、接種率は高い。



接種後、体調に変化がないか、15分間ほどここで様子を見る。

令和5年度 注目の補正予算

令和5年度川場村の一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億9,332万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ45億7,209万5千円とする。

農業用生産資材の価格高騰の影響を受ける農業者を支援

価格高騰対策農業者支援給付金 1,637.9万円

この給付金は、農業資材や農業経営費などの価格高騰による影響を受ける農業経営の安定化を図るため緊急支援として新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金から給付されます。

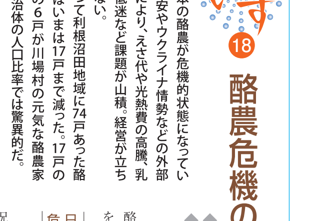
価格高騰対策農業者支援給付金の対象と支給金額
① 認定農業者／10万円
② ①を除く農業所得申告者／3万円
③ 酪農家及び畜産農家で飼育されている牛1頭につき6千円

給付金の交付手続きについては、川場村ホームページ及び村内回覧板により詳細な案内がありますのでご覧ください。

大きな変革の時代を迎える川場村の未来を考える

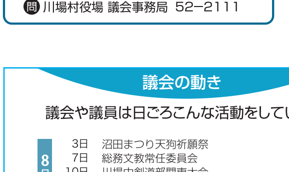
未来構想コンサルティング委託料 220万円

川場村は、令和5年10月29日に「川場村役場新庁舎」の落成式を行い、11月6日より新庁舎にて役場業務が開始され、「むらの学習館」「交流ホール」「エネルギーセンター」などの施設も稼働開始しました。
また、令和7年4月には小中一貫校として「川場学園」が開校します。
このように新拠点構想が形を現し、そして新しい教育を目指す「川場学園」も開校と、川場村は大きな変革の時代を迎えることになります。
この大きな変革の時に川場村の未来をどう想像し、どんな未来を創るのか多様な意見を出し合い話し合う場として「川場の未来を考える会」（委員20名）がつくられました。
その「川場の未来を考える会」へ助言や指導を行い、話し合われたさまざまな意見を汲み取り、川場村の未来構想として取りまとめるコンサルティングを「一般社団法人 残すに値する未来」（代表／安宅和人）への委託です。



川場村新拠点関連建設工事現場を視察

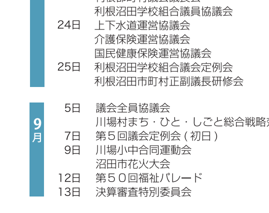
令和5年9月15日



10月29日の役場新庁舎落成式を前に建設工事の進捗状況を視察しました。
川場村拠点整備事業計画（令和2年）に基づき進められてきた新拠点整備は役場新庁舎を中心に交流ホール、むらの学習館、教育委員会、エネルギーセンター、防災トイレなどの施設群からなります。
すでに完成している交流ホールやむらの学習館は川場村の木材を活かした内装や大きな窓が印象的で、落ち着いた中にも開放感を感じました。全体の完成時には敷地内の植栽も施され川場村の農村風景を活かした姿が現れるものと期待しています。

議会を傍聴してみませんか

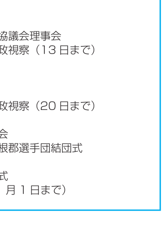
次回定例会は12月上旬です



むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入口で名前と住所を記入していただくだけです。
問 川場村役場 議会事務局 52−2111

角田文雄議員に感謝状贈呈

全国町村議会議長会及び群馬県町村議会議長会より、地方自治の振興と町村行政の発展に対する功績をたたえ、角田文雄議員に感謝状が贈呈されました。



議会の動き

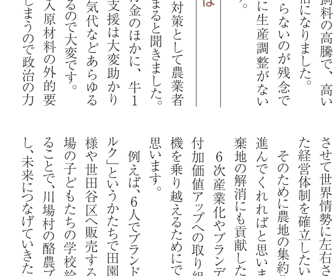
議会や議員は日ごろこんな活動をしています。

月	日	内容
8月	3日	沼田まつり天狗祈願祭
	7日	総務文教常任委員会
	10日	川場中剣道部関東大会
	17日	川場村土地開発公社理事会
	18日	議会運営委員会 議会広報特別委員会
	21日	利根地方総合開発協会理事代表幹事合同会議 利根郡町村議会議長会 利根沼田学校組合議員協議会
	24日	上下水道運営協議会 介護保険運営協議会 国民健康保険運営協議会
	25日	利根沼田学校組合議会定例会 利根沼田市町村正副議長研修会
9月	5日	議会全員協議会 川場村まち・ひと・しごと総合戦略効果検証説明会
	7日	第5回議会定例会（初日）
	9日	川場小中合同運動会 沼田市花火大会
	12日	第50回福祉パレード
	13日	決算審査特別委員会
	13日	総務文教常任委員会
	15日	第5回議会定例会（最終日）
	20日	慶祝訪問
	26日	川場村老人クラブ輪投げ大会 議会広報特別委員会 利根郡町村議会議員・事務局長研修会
	30日	かわば森のこども園運動会
10月	1日	昭和の秋まつり 川場村消防団点検
	3日	抜穂祭
	4日	利根招魂祭
	6日	敬老会 議会広報特別委員会 利根沼田暴力追放推進協議会理事会
	12日	産業振興常任委員会行政視察（13日まで）
	16日	利根郡町村議会議長会 広域圏議員協議会
	18日	川場村戦没者追悼式
	19日	総務文教常任委員会行政視察（20日まで）
	21日	学校林防火線手入れ 世田谷たまがわ花火大会
	23日	群馬県スポーツ大会利根郡選手団結団式
	25日	慶祝訪問
	29日	川場村役場新庁舎落成式
	30日	利根郡議長会研修（11月1日まで）

ぼいす 18

酪農危機のなかでも、日々奮闘中

◆石田ちよさん ◆横坂考純さん ◆関 拓哉さん
◆川田 忠さん ◆田中耕作さん ◆外山雄一さん



左から石田ちよさん、横坂考純さん、関 拓哉さん、川田 忠さん、田中耕作さん、外山雄一さん

日本の酪農が危機的状態になっている。円安やウクライナ情勢などの外部要因により、えさ代や光熱費の高騰、乳価の低迷など課題が山積。経営が立ち行かない。
かつて利根沼田地域に74戸あった酪農家はいまは17戸まで減った。17戸のうちの6戸が川場村の元気な酪農家だ。自治体の人口比率では驚異的だ。

今回は酪農家の6名の皆さんから、酪農への思いや苦労、農政へのご意見をお聞きしました。

日本酪農消滅の危機と叫ばれているが

酪農をはじめて今までかつてない状況でかなりの赤字が出ています。特に打撃が大きいのは飼料の高騰で、高いものだと以前の2倍になりました。
でも乳価は変わらないのが残念です。北海道のように生産調整がないだけ救われています。

農政や村への要望は

川場村価格高騰対策として農業者支援給付金がはじまると聞きました。認定農業者の給付金のほかに、牛1頭あたり6千円の支援は大変助かりますが、燃料や電気代などもあらゆる経費が高くなっているので大変です。
為替の変動や輸入原材料の外的要因に影響を受けてしまうので政治の力は重要だと思います。フランスの農家報酬を守る法律が日本にもあればと思います。

酪農危機を乗り越えるためにできることは

みんなで力をあわせ共同作業に取り組み効率化させ、自給飼料を向上させて世界情勢に左右されない安定した経営体制を確立したいです。
そのために農地の集約化が少しでも進んでくれればと思います。耕作放棄地の解消にも貢献したいです。
6次産業化やブランディングによる付加価値アップへの取り組みも酪農危機を乗り越えるためにできることだと思います。
例えば、6人でブランドを作り「地ミルク」というかたちで田園プラザのお客様や世田谷区へ販売すること、また川場の子どもたちの学校給食に提供することで、川場村の酪農ブランドをPRし、未来につなげていきたいです。

編集後記

新議会広報特別委員会で発刊する田園理想郷時代が2号目となりました。
村民皆様が注目し、読んでいただけるような紙面づくりに日夜奮闘しています。
今年の夏は、鼻から空気を吸うとやけどするような暑さと思いきや、10月になると途端に雨が多く、収穫にも支障を与えるほどの異常気象。その上急に朝晩の気温も下がりこたつが欲しくなり、何となく淋しさを感じる今日この頃です。
議会活動は、広報を通じ報告しますが、各地区集会場の掲示板に定例会・臨時会の会議録が掲示してありますので是非お読みください。面白いですよ。
それでは皆様体に気を付けて頑張りましょう。
（桒原達也）

議会広報特別委員会
委員長 星野 孝之
副委員長 桒原 達也
委員 黒田まり子
委員 宮内 好美
委員 千木良澄夫

発行／川場村議会
〒378-0101 群馬県利根郡川場村大字谷地2390−2
TEL. 0278-52-2111(代) FAX. 0278-52-2333
制作／新木デザイン事務所